

フ ルートの演奏で、憩いのひととき 震災避難者交流会を開催



福島県と宮城県から市内に避難されている方々の交流会が5月16日に高山市役所で行われ12名の方が参加されました。

交流会ではフルートによる「ふるさと」などの演奏会があり、参加された方は故郷を思い出しながら聞き入っていました。この後、意見交換が行われ、現在の生活に対する悩みや今後の生活などについて話し合いました。

高 原でのんびり過ごす夏 市営牧場で飛驒牛の放牧



市内6カ所の市営牧場で5月20日から、飛驒牛の繁殖牛の放牧が始まり、26日には小鳥山牧場(清見町)で80頭が放牧されました。運ばれてきたトラックの扉が開くと威勢良く牧野を駆け回りおいしそうに牧草を食べていました。

なお、このうちの3頭が池に入っていく光景が見られ、農家の方も「水が嫌いな動物なのに、珍しいこともあるものだ」と驚いていました。

古 い町並は自分たちで守る 初期消火用設備の取扱説明会



下二之町・大新町伝統的建造物群保存地区内の越中街道町並保存会の方を対象に5月28日、初期消火設備の取扱説明会が行われました。

この日集まった約30人の方は、新しく設置されたポンプや放水銃などの取扱方法の説明を受け真剣なまなざしで操作を体験していました。

なお市が町並保存のため同地区内に設置した初期消火用設備は8カ所9台となりました。

秘 境の保護と活用の両立 五色ヶ原の森オープン



乗鞍山麓五色ヶ原の森が5月20日、今年の営業を開始しました。

8シーズン目を迎える今年は、毎週水曜日を定休日として森を休ませたり、新たに6名のガイドを加えるなどして、秘境の保護と活用の両立に向けた取り組みを進めることとしています。

なおショートコースを導入した昨年は9,681人の入山者がありました。



優秀作品応募者：藤原一也さん

デザイナー新! 「高山市推奨土産品」登録証紙

市では、市内などで製造される土産品のうち、飛驒高山にふさわしく郷土色豊かなもので、品質が優れているものを推奨土産品として登録しています。

登録された土産品には登録証紙を貼付していますが、この度、新しいデザインを一般公募し、集まった54点の中から左のデザインに決定しました。明るい色彩が目立ち、元気な印象があること、字体が高山らしく英語表記もあることが選考理由で、今年度から使用される予定です。

問合せ 商工課
☎35-3144